

コロナ禍の長期化で広がる貧困と格差 地方自治体・荒川区はどう住民を守るのか

アンケートの自由記述に寄せられた声

コロナ禍で失業して以来、短期の派遣をつないで生活をしています。生活が安定せずに毎日が不安です。

今日、コロナ感染しました。来月のお給料はないに等しい。

物価高騰により生活が苦しくなった。電気代の値上がりは本当に苦しい。

収入は増えないのに物価はどんどん上がっていくので、食事の質がかなり落ちました。衣料品はまったく買えません。子どもは高校2年生ですが修学旅行にも行けません。

介護職パート。とにかく働いても働いても収入にならないです。賃金が上がっているのは正社員のみ。

9.9%が生活が苦しくなった

物価高騰で生活が大変苦しくなった47.6%、苦しくなった36.5%、少し苦しくなった14.9%。

子どもの食事について

栄養バランスが悪くなつた64.3%、量が減つた60.2%、肉や魚が変えない36.5%。

約半数の家庭で夏休みのアクティビティが「特にならない」



(調査結果から)



キッズドアは、予算増額、減収世帯への支援継続、各家庭のデジタル格差是正など政府に求めています。

キッズドアは、子ども達が旅行や夏の各種イベントの予定がないと回答。給食のない夏休みの食事も深刻な影響が見られます。（資料参照）

収入は、コロナ禍で減少が7割、減つたままが5割など厳しい実態が明らかになります。半数の子どもが旅行や夏の各種イベントの予定がないと回答。給食のない夏休みの食事も深刻な影響が見られます。（資料参照）

母子世帯が87%、世帯年収200万円未満が57%、半数以上が非正規雇用でした。

収入減つたまま5割など・NPO調査

新型コロナウイルス感染拡大

ズドアは、今夏の食料支援に申し込んだ世帯にアンケート調査を実施、2084件の回答が寄せられました。内訳は

母子世帯が87%、世帯年収200万円未満が57%、半数以上が非正規雇用でした。

荒川区として区民に寄り添つた支援を実施するにあたり、同時に、一番身近な自治体・荒川区がこうした大変さに寄り添つて積極的な支援を行うことが求められます。就学援助の対象拡大、給食無償化、当面ひとり親家庭への家賃助成など思い切った支援策が必要です。また、国保や介護などの保険料緊急減免や、事業者への固定費補助なども緊急課題ではないでしょうか。区民のみなさんの声を聞き、改めて緊急対策を求めてます。

今週のデータ 役員報酬は34.3%アップ 最低賃金は3.3%アップ！

普通に暮らせる賃金を求める声が当然です。株主資本主義でなく、また、国保や介護などの保険料緊急減免や、事業者への固定費補助なども緊急課題ではないでしょうか。区民のみなさんの声を聞き、改めて緊急対策を求めてます。

最低賃金を1500円、9万円になり最低賃金は961円（全国平均）の2.174倍です。2021年は961円で時給換算すると1200円。3500万円で3%アップで最低賃金は34.3%です。一方、役員報酬はわずか3.3%です。最大」と「最大」とマスコミが報道しています。

「最低賃金の上げ幅が過去最大」とマスコミが報道しています。

働く人を大事にする優しい経済への転換が切実になつてい

台東区の区立幼稚園預かり保育・給食など視察調査 ます荒川区も事業を実施して検証すべきでは…

8月4日共産党区議団は、2021年度から始めた台東区立幼稚園の預かり保育と給食提供について視察・調査をしてきました。

昨年度、全園(10園)で16時半までモデル施行した週2日の預かり保育を今年度からは5園では平日18時まで始めました。給食は週一回が今年度は週1回か5回の選択で、4月現在では5回の園児が全体では45、4%だそうです。

荒川区立幼稚園の預かり保育は、2019年度から日暮里幼稚園で実施し2年目からは25名定員いっぱい、定員近くの利用になっています。また一時利用も年々増えています。園児の減少もありません。こうした預かり保育の実施状況の分析など今回の素案ではどうなっていたのでしょうか。

あらためて、計画見直しの必要性を感じました。

台東区預かり保育利用状況		
	定期利用	一時(1日平均)
台桜	5名	5.6名
根岸	7名	7.7名
金竜	9名	7.3名
田原	6名	7名
育英	6名	5名

荒川区の教育と子どもの未来を ごいっしょに考えてみませんか

主催:日本共産党荒川区議団

8月28日(日)10時～

ふらっとにっぽり

（東日暮里6-17-6）

★高橋光行さんのお話

全国幼年教育研究協議会・集団づくり部会代表世話人

荒川区立幼稚園保育士

★フロアー発言・交流

